



題字 山名雄二

第 47 号

平成 5 年 2 月 15 日

発行 者 群馬県山岳連盟
〒371 前橋市大手町 1 丁目 1-1

群馬県庁観光課内 (0272)23-1111

TEL

編 集 群馬岳連編集委員会

責任者 羽野 順一

印 刷 所 森 田 印 刷

<定価 1 部 100 円>

第四七回

国体報告

成年男子監督

佐藤 光 由



(I) 報告

第 47 回へにはな国体は、10 月 4 日から、山形県の飯豊山系でおこなわれた。

昨年はブロック予選のない成年男子も国体に出せなかったが、今年には、成年女子が 1 位、少年男子が 2 位で関東ブロックを通過し、3 チームの出場となった。開始式などで感じるが、3 チーム、4 チーム出場している県は元気がいっぱい、士気が上がっている。

まずは結果から

成年男子 総合 9 位

縦走 8 位 (入賞)

踏査 9 位

登攀 19 位

成年女子 総合 9 位

縦走 12 位

踏査 6 位 (入賞)

少年男子 総合 12 位

縦走 9 位

踏査 15 位

天皇杯 17 位、皇后杯 13 位

(II) 競技内容について

縦走競技 — 特区は 1ヶ所のみ。特区は 1ヶ所のみ。特区は 1ヶ所のみ。

この特区間だけで 60 点の配点になる。天気図配点が 10 点、他の 30 点は準備をきちんとし、制限時間内に仕上げられる点だ。成年男子は上位チームは天気図得点で一喜一憂した。特区時間点は 1 分 1 点。1 分の間に 5 チームが入っていたが、天気図得点の差で順位が入れかわった。群馬は地元山形に 6 秒上まわったが、天気図で 8 位となった。取れる点は確実に取らなければならぬ。

踏査競技 — 定点確認 45 点、設問 15 点、時間得点 40 点で行なわれた。縦走と違い 2 分で 1 点になり、定点得点のウエイトが高くなる。夏から 3 回下見に行き、コース範囲をくまなく歩き、地図上にルートを引き、行く度に刈り払いが練習不足にもかかわらず、完登で 9 位と健闘した。

山田昇杯も 3 回目になり、この大会で上位に入っている選手が、今年の本県国体選手の主だったメンバーとなった。近頃の国体選手も多数参加しており、いい刺激となる大会に成長している。山や 3 人のチームは少なくなっている。1、2 名は、長距離、トライアスロン、自転車、クロカンなどの選手で、山はズブの素人。審判員に指示された装備がわからなくてアタフタする選手がいる様だった。今回の群馬成男も、山田昇杯に常より選出された委員で構成され、毎月第一水曜日が委員会の会合日となっている。この会議の中で事業計画の立案、準備、検討等を 6 位 (入賞)、総合で 9 位、少年男子は縦走 9 位、踏査 15 位となり、成年男子、成年女子と共に総合 9 位となり、惜しくも 8 位入賞は出来ませんでした。しかしもう一度入賞出来るところだったのだ後、六月七日各種目別の強化合宿を計画、トレーニングを実施、今年には来年関東ブロック大会が群馬県で開催されるための標名山系に於けるコースの予備調査を実施、各町村との交渉、大会予算等の作成、競技役員の人員配置案等を検討し、関東ブロック大会がスムーズに運営出来るよう努力しております。

夏のプロック大会は山梨足和田村周辺で七月二十四日・二十五日に実施され、成年女子は登攀一位として今後育てて行けるものと思っております。是非国体選手候補を出していただきますようお願い致します。

嶺呂のいわれ

嶺呂とは、万葉集の中に出てくる言葉で、嶺は山々、峰々の意味。呂は親愛・感動の意をこめて使った。万葉集上野国歌の中に「久呂保嶺呂」(赤城山)と「伊香保の嶺呂」(標名山)などという風に使用されている。

国体部事業報告

国体部長 松田 龍彦

(II) 雑感

私の出場した 12 年前の国体、そしてあかぎ国体と較べて、レベルが大変上がっている。そしてより競技性が高くなっている。以前は姑息な手段を使えば上位をうかがえたが、今は力の勝負となつてきている。つまり、トレーニングをして力さえ付けければ、勝てる競技になつた。ちょっと意識を変えてもらえば、山岳競技は、自分のこれからの山登りに必ずプラスとなる。

夏のプロック大会は山梨足和田村周辺で七月二十四日・二十五日に実施され、成年女子は登攀一位として今後育てて行けるものと思っております。是非国体選手候補を出していただきますようお願い致します。

山田昇杯も 3 回目になり、この大会で上位に入っている選手が、今年の本県国体選手の主だったメンバーとなった。近頃の国体選手も多数参加しており、いい刺激となる大会に成長している。山や 3 人のチームは少なくなっている。1、2 名は、長距離、トライアスロン、自転車、クロカンなどの選手で、山はズブの素人。審判員に指示された装備がわからなくてアタフタする選手がいる様だった。今回の群馬成男も、山田昇杯に常より選出された委員で構成され、毎月第一水曜日が委員会の会合日となっている。この会議の中で事業計画の立案、準備、検討等を 6 位 (入賞)、総合で 9 位、少年男子は縦走 9 位、踏査 15 位となり、成年男子、成年女子と共に総合 9 位となり、惜しくも 8 位入賞は出来ませんでした。しかしもう一度入賞出来るところだったのだ後、六月七日各種目別の強化合宿を計画、トレーニングを実施、今年には来年関東ブロック大会が群馬県で開催されるための標名山系に於けるコースの予備調査を実施、各町村との交渉、大会予算等の作成、競技役員の人員配置案等を検討し、関東ブロック大会がスムーズに運営出来るよう努力しております。

山田昇杯も 3 回目になり、この大会で上位に入っている選手が、今年の本県国体選手の主だったメンバーとなった。近頃の国体選手も多数参加しており、いい刺激となる大会に成長している。山や 3 人のチームは少なくなっている。1、2 名は、長距離、トライアスロン、自転車、クロカンなどの選手で、山はズブの素人。審判員に指示された装備がわからなくてアタフタする選手がいる様だった。今回の群馬成男も、山田昇杯に常より選出された委員で構成され、毎月第一水曜日が委員会の会合日となっている。この会議の中で事業計画の立案、準備、検討等を 6 位 (入賞)、総合で 9 位、少年男子は縦走 9 位、踏査 15 位となり、成年男子、成年女子と共に総合 9 位となり、惜しくも 8 位入賞は出来ませんでした。しかしもう一度入賞出来るところだったのだ後、六月七日各種目別の強化合宿を計画、トレーニングを実施、今年には来年関東ブロック大会が群馬県で開催されるための標名山系に於けるコースの予備調査を実施、各町村との交渉、大会予算等の作成、競技役員の人員配置案等を検討し、関東ブロック大会がスムーズに運営出来るよう努力しております。

国体部は県岳連加盟の各山岳会より選出された委員で構成され、毎月第一水曜日が委員会の会合日となっている。この会議の中で事業計画の立案、準備、検討等を 6 位 (入賞)、総合で 9 位、少年男子は縦走 9 位、踏査 15 位となり、成年男子、成年女子と共に総合 9 位となり、惜しくも 8 位入賞は出来ませんでした。しかしもう一度入賞出来るところだったのだ後、六月七日各種目別の強化合宿を計画、トレーニングを実施、今年には来年関東ブロック大会が群馬県で開催されるための標名山系に於けるコースの予備調査を実施、各町村との交渉、大会予算等の作成、競技役員の人員配置案等を検討し、関東ブロック大会がスムーズに運営出来るよう努力しております。

一九九二年群馬県高校教職員 インドヒマラヤ登山隊遠征報告

《ストックカンリ峰一六一五三メートル》

登山隊隊長 日向野克己



C1よりストックカンリを望む

チベット仏教寺院や王宮など、高所にあるものを訪ねて、高所順応を兼ねた訓練とした。
食糧や石油コンロなども現地調達であったが、これはコックやキッチンボーイに任せて、我々は登攀用具の整備や高所順応に専念することとした。

七月二十八日、レーからストック村に移動。二日間の準備期間の中で、BC建設予定地ラルツ（標高四八〇〇メートル）まで往復、体調をととのえた。

一九九二年八月二日、午前八時二分、第一隊が、ストックカンリ峰（六一五三メートル）の登頂に成功した。以下、第二次から第四次まで、四日間にわたるアタックによって一七名の隊員が頂上を極めた。
はるか北方の中印国境に白い山並みを見せているカラコルム山系をはじめ、C B山群、K R山群等ザンスカールの山々を飽くことなく眺め、しばし愉悅の時を味わったのであった。

◎登山活動

七月三十一日、ラルツにBCを建設。標高四八〇〇メートルのこの地は、周辺にエーデルワイスの群落を有する絶好の場所であった。休息する間もなく、高度順化を兼ねてストックカンリ峰の偵察を行ない、ルートの確認を急いだ。

八月一日、ストックカンリ峰下南東の水河にC1を建設。標高五四〇〇メートル地点である。
八月二日、八時二分、第一隊登頂に成功。（鹿田・登坂・原・田中・加藤好・川島）晴天。

八月三日、第二次隊登頂。七時二分。（鹿田・日向野・岡・梅沢・宮崎・蘭田・横山・黒岩・伊藤・野村）晴天。

八月五日、第三次隊登頂。一三時四分。（大澤・横山）霧。

◎登山準備

一九九二年七月二十五日、登山隊はインド・デリーから空路レーに飛び、標高三五〇〇メートルのその街で具体的な準備に入った。レーの街を囲むように迫っている岩山の上に建てられたゴンパ（



ベースキャンプ（ラルツ）

ではあるが、また多くの魅力を持つている踏査ルートでもある。
中型コーチに乗って、ガードレール一本とてない山岳道路は緊張の連続であったが、事故もなく無事にマナリへ到着、多くの収穫を得ることができた。

セントラルラホールと呼ばれる五、六千メートル級の山々の間を縫って走る山岳道路ではあるが、死の世界と思われる岩山や砂地にも、かろうじて生を保っている植物があり、意外なところでエーデルワイスを発見したりするのであった。

◎遠征をおわって
高校の山岳顧問で編成されたインドヒマラヤ遠征隊は、今回で三度目になる。一九八〇年、C B山群シャルミル初登頂。一九八五年、ガンガル地方の踏査。そして今回のストックカンリ峰というわけであるが、高体速登山部の海外登山の足跡として、一つの実績にはなり得たと思ふ。

八月七日、第四次隊登頂。七時五十分。（鹿田・宮崎・白石）曇。
四次にわたるアタックの結果、一七名が登頂に成功。これは、天候に恵まれたこともあるが、おおむね高所順応がうまくいった故であるとも考えられる。
登頂の副産物には別にもあり、ストックカンリ登頂の余勢を駆って、BCに近いグレップカンリ峰（五八〇〇メートル）の登頂も果たすことができた。（八月五日、鹿田・宮崎・蘭田・黒岩・加藤好・野村・八月七日、横山・田中）
八月八日、BC撤収。ストックカンリ峰を結ぶ四八五キロメートルにわたる山岳道路の踏査に出発した。これは、中印国境、印パ国境の緊張が高まっていた頃、インド軍が作った軍用道路で、一九八九年に外国人にも開放されなかったということ、今回の遠征でも示すことではきたと思ふ。
C B山群、K R山群を間近かに眺め、五千メートルを越す峠を有する世界有数の山岳道路は、危険

平成四年度 日山協自然保護委員総会

水上町去来荘で開催

自然保護部長 富山 真



平成四年十月十七日、十八日の両日にわたって水上町の去来荘で日山協自然保護委員総会が開催された。主催は、日本山岳協会が群馬馬岳連が主管した。

総会は、午後一時三十分開会され、主催者を代表して日本山岳協会長(国見利夫)日山協事務局局長(代理)及び堀井啓介日山協自然保護委員長があいさつした。続いて

主管者として星野群馬馬岳連会長、来賓として水上町長のあいさつがあった。会議は、議長に浅見豊日山協常任委員(埼玉馬岳)が選出され、議事にはいった。出席者は、二十一都府県、五十八名であった。

日山協からは次の議題が提案され、それぞれ提案理由等の説明が行なわれた。

- 一、自然保護委員会の今後のすめ方(将来構想を含めて)
- 二、秩父多摩国立公園雲取山山頂周辺の美化清掃運動計画について
- 三、谷川岳肩ノ小屋の再建について

特に本県に關係のある谷川岳肩ノ小屋の再建についての提案説明は、石田稔郎日山協自然保護副委員長が行なった。その趣旨は、肩ノ小屋は、谷川を縦走する登山者にとって重要な拠点となっていたが、今シーズンから管理人が不在で無人化された。小屋の中で用をたす人も多く、悪臭もひどく避難小屋又は休憩所としても利用できない状態になっている。このよう

肩の小屋再建について

小寺知事へ日山協より陳情

陳情文

谷川岳肩の小屋は老朽化のため今シーズンから管理人が不在、つまり無人化された避難小屋になりました。その結果はまことに惨憺たるありさまとなっております。トイレが使用不能のため、小屋の中で用をたす人が多く、小屋の中は尿で足の踏み場もなく、トイレ紙等も散らかっております。特に悪臭もひどく、避難小屋又は休憩所としても利用できない状態になっております。

(社)日本山岳協会の自然保護委員総会では、山岳における自然環境保全のため、数年にわたって委員総会では、山岳における自然環境保全のため、数年にわたって尿処理とトイレの整備について論議を続け、本年五月「山岳等自然域におけるトイレの整備について」環境庁に要請書を提出いたしました。また、登山コースにトイレの案内板の設置を関係団体に出版社にも要請いたしましたところ

その水は関東地区の県民、都民の飲用水として使用されております。この重要な水の汚染を防ぎ、自然環境の保全のため、肩の小屋の地点に堅固で快適なトイレの建設をなされるよう要請いたすものであります。

トイレについては上高地地区に設けられた有料トイレも参考にしたい。また、谷川岳は関東地区ばかりでなく全国からも多数の登山者が訪れる山でもあり、気象の激変による遭難もかなり発生していることとは周知のとおりでありまして、遭難の予防と頂上へ登山後の休憩所として、堅牢で半永久的な使用に耐える避難小屋も建設していただきたく合せて要請いたすものであります。

上記のことを本年度(平成四年十月十七日)の自然保護委員総会における決議にもつき陳情いたします。

技術と信用で地域社会に貢献する
総 合 建 設 業

万屋建設株式会社

取締役会長 星野 光

本社 群馬県沼田市下之町880番地 TEL 0278(23)4648(代表)
支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-985-7631

既存指導員の地域スポーツ指導者への移行措置

- 地区指導員→地域スポーツ指導者C級指導員 に移行
但し、共通科目C級の補講を、6時間受ける
- 第2種指導員→地域スポーツ指導者B級指導員 に移行
但し、共通科目C級の補講を6時間と、B級の補講6時間の、計12時間受ける
- 第1種指導員→地域スポーツ指導者A級指導員 に移行
但し、共通科目C級の補講を6時間と、B級の補講6時間と、A級の補講7時間の、計19時間受ける
- 名誉指動員→名誉指導員になる前の指導員(地区・2種・1種)にもどり各級(C・B・A級指導員)に移行
※注意 岳連推薦の名誉指導員は移行出来ません

《お知らせ》日山協指導員制度が移行する

日山協指導員制度が平成五年三月三十一日をもって廃止され、日本体育協会公認指導員制度に移行される。

現在日山協指導員資格のある者は、移行講習会(C・B級指導員は群馬県体育協会で行う移行講習会を六時間、A級指導員は日本体育協会が行う移行講習会を七時間)を受けて移行手続きを行うことになる。移行期間がいつになるかは不明であるが、この講習会を受講し、新しい指導員資格を取得する場

専門科目だけ合格した者は、まず山岳指導員ということで日山協が認め、共通科目が合格した段階でC級指導員資格が認定される。

記 高田・女屋

おぼたたりあん国体記

大間々山岳会 阿部悦子

今の健康な体がうれしい。健康とは、病気でないということ以上のものだと思っている。心身共に生き生きと躍動している姿であらうと思う。

私は、小学生の頃から医者通いで大きくなった。健康な体を持てたのは、社会人になってから、特に山と出会ってからのこと。高場希望の人がいないことだった。強化選手という話を聞いた時、自分に本当にできることなのだろうかと思つた。でも、松田監督をはじめ、岳連関係の方々の御指導により、どうにか国体選手として競技できた。体力や技術も向上したと思つた、やれば確実に

いう岳連の方向なのだろうか。そこであるならば、岳連として国体をどう位置づけているのだろうか。ごく一部の人がその時だけ関わっているだけでいいのだろうかと思つた。素朴な疑問をもつ。

岳連として、しっかりと位置づけがあるのなら、もっと体制を整備すべきだと思つた。私が選手として動くまで、口頭で強化選手という話をもらったが、具体的な行動は岳連として何一つなかった。正式書類でさえかなり押し迫ってからのようだった。所属長への依頼文書も、本人が職場に提出した。ちよつと違うような気がする。

もつと早く行動すべきだ。選手候補が一人だつて行動をおこなければ何も始まらない。チームワークが必要だ。今回の敗因もこの点にあるように思つた。

来年は様名で関プロ大会が行われる。成年男女、少年男女と四チームが揃つて本大会出場が期待される。今年の国体反省会も成年、少年合同で行なつた。成年女子の選手候補の名も二、三名あがつてきている。こういうことが無駄にならないように、具体的な行動が実現していくように望むと共に、今年経験させていたことが、少しでもお役に立つならば、できる限りのことはしたいと思つている。

山岳競技は三種目から成る。私自身が三種目の中で大嫌いなのは踏査が公平さに欠ける。より多く調査したチーム、より多く現地に入れたチームが有利。競技として納得できるのは縦走。装備チェックがあつたり、服装規定があつたり、特区ゴール一本ゴールまでの得点があつたりするが、今後、特区間のタイム争いとなつていくのと、天気図はなくなつていくとすつきりして行く。現地練習に頼らなくてもできる種目である。

登攀は実力プラス現地練習であろう。種目が好きだ嫌いだと言つても全種目やらなくてはならない。そして終つてしまえば楽しかったと思える。

いろいろ思つたこと感じたことを書き連ねてみたが、国体に参加して何が一番よかつたかと考えてみると、「人との出会い」だ。国体に向けて行動を共にする中で、いろんな考え、いろんな人の山に向かう姿勢、生き方、オーバードに言えはいろんな人生観に出会えた。この出会いを大切に、こんな機会を与えてくれた人達に心より感謝している。そして、今後の私の山登りの方向へのよい刺激材料となつた。

私が生きているって感じられるのは、心臓が激しく活動し、自分で心臓の音を感じとれる時。だから山へ登るのも好き、山田杯へ出るのも好き、そしてマラソンにも憧れる。他人と競うのではない、自分との戦いだ。

そういう意味では、国体も同じだったと思つた。国体の競技など何もう知らず、何の準備もせず選手になつてしまつた。本当は選手にされてしまつたと言つた方が正しい。そして、六月末から毎週、国体の為に行動した。二人の娘や言い出しっぺの夫、それに夫の父母と家族全員が協力してくれた。上の娘

国体に出場希望する者がいなくても、岳連として国体に出場させていかなくてはならないのか。希望者がいなければ出場しないと割り切れないのか。積極的に出たい人がいなくても、やれそうなのを意図して交渉し、出場させていくと

経験してみようと思つたのは、目標を自分のレベルより少し高いところにおき、目標の為に具体的な行動を一つ一つ積み重ねること。そうすれば入賞もできるのではないかと

山岳競技は三種目から成る。私自身が三種目の中で大嫌いなのは踏査が公平さに欠ける。より多く調査したチーム、より多く現地に入れたチームが有利。競技として納得できるのは縦走。装備チェックがあつたり、服装規定があつたり、特区ゴール一本ゴールまでの得点があつたりするが、今後、特区間のタイム争いとなつていくのと、天気図はなくなつていくとすつきりして行く。現地練習に頼らなくてもできる種目である。

登攀は実力プラス現地練習であろう。種目が好きだ嫌いだと言つても全種目やらなくてはならない。そして終つてしまえば楽しかったと思える。

いろいろ思つたこと感じたことを書き連ねてみたが、国体に参加して何が一番よかつたかと考えてみると、「人との出会い」だ。国体に向けて行動を共にする中で、いろんな考え、いろんな人の山に向かう姿勢、生き方、オーバードに言えはいろんな人生観に出会えた。この出会いを大切に、こんな機会を与えてくれた人達に心より感謝している。そして、今後の私の山登りの方向へのよい刺激材料となつた。

美と健康のお手伝い

ブリジストン自転車 } 一流メーカーは安心です
 ナショナル自転車 }
 ホンダのオートバイ }
 サイクルショップ ヤギルラ

前橋市下細井町139-3
 TEL 0272-31-1308

有限会社 山とスキーの店 石井

Dream BOX

伊勢崎市宮子町78街区1819-1
 TEL.0270-21-8025 FAX.0270-21-8026